

平成27年度

沖縄県福祉のまちづくり賞 表彰事例集



沖縄県子ども生活福祉部
障害福祉課

沖縄県福祉のまちづくり賞について

沖縄県では、高齢者、障害者をはじめすべての人が安心して生活し、自らの意思で自由に行動し、等しく社会に参加することができる地域社会の実現を目指して「沖縄県福祉のまちづくり条例」を制定し、様々な施策を推進しています。

施策の一つとして、「沖縄県福祉のまちづくり賞」を創設し、条例の趣旨に沿った「福祉のまちづくり」に寄与する取組や活動を行っている個人、企業又は団体で、顕著な功績のあったものを表彰することとしています。

表彰は年1回行っており、平成27年度は3団体を表彰しました。

この冊子では、平成22年度から27年度まで(平成26年度は表彰者無し)の表彰事例を紹介します。

※平成19～23年度は「沖縄県福祉のまちづくり推進功労者表彰」という名称で表彰を行っていました。

●平成27年度



県知事賞

株式会社 琉球銀行

就労支援事業所等の優れた製品の即売会を行い、利用者並びに活動の理解促進を図るために開催する「ナイスハートバザール沖縄」を平成17年より特別協賛し開催費用の提供だけでなく、ボランティアスタッフを派遣するなど、10年以上継続して支援している地道な努力が大いに評価された。また「ユイマール助成金」については、企業の寄付金のみでなく、役職員からの募金と合わせて基金として造成している自発的な取組みが評価された。今後も継続して地域活動に貢献していただきたい。

新築・増築した店舗についてもバリアフリー化を進めており、障害者に配慮した様々な設備を設置している。



ナイスハートバザールオープニングセレモニー



販売員スタッフ



イベントスタッフ



イベントスタッフ

奨励賞

ティーンズクラブ

森の子児童センターで活動を行う中学3年生のグループが地域と要援護者に必要な「福祉避難マップ」、「防災福祉ブック」を作成し、地域住民を巻き込んで「勢理客地域防災訓練」まで行った自発性が大いに評価された。また、支援の必要な者の視点を大事にして活動を行った点もよかった。今後も活動が受け継がれていくことを期待したい。



防災マップ



避難開始の様子



避難者の安否確認



参加者の地域の皆さん



震災経験者による体験談



NPO法人による防災講座

奨励賞

株式会社 沖縄銀行

平成27年4月に移転オープンした「南風原支店」は、障害のある当事者の意見を随所に入れたバリアフリー店舗となっており、当事者の意見を設計の段階から反映させた先駆的な取組が評価された。また、その後に整備した支店へ反映させるだけでなく、既存の店舗でも積極的にバリアフリーを推進する姿勢も評価された。他の企業への波及効果を期待したい。



車いす用駐車場設置



身障者対応 ATM コーナー



コミュニケーションボード



県知事賞

イオンタウン株式会社

国内で初めて導入された先進的な設備のあるトイレをはじめとした大規模なユーティリティスペース「なかゆくいエリア」、県内初のゲート付き駐車場等を備えたイオンタウン南城大里ショッピングセンターの施設整備が大いに評価された。

同店は新会社の1号店店舗であることから、開業に伴いユニバーサルデザインガイドラインを策定し全国の系列店舗に活用する等、県内はもとより全国各地に対する波及効果も期待されている。



なかゆくいエリア(充実したキッズトイレ・ミルクルーム等)



どこで転倒しても呼び出し可能



ゲート付き駐車場と登録利用客に交付するリモコンキー



車いす利用客用カート



ホールを地域住民に無料提供



わかりやすいサイン表示



UDガイドラインを作成

奨励賞

NPO 法人幸せの魔法つ会 あいとびあ

ユニバーサルデザインファッション店舗「花咲み(はなえみ)」にて、一人ひとり異なる障害の特性に応じデザイン・縫製を行うオーダーメイドの「晴れ着」を製作し、依頼者に安価でリース提供している。また、縫製作業所・店舗への障害者訓練生配置、ユニバーサルウェディングへの製品提供などを通じて、障害者の社会参加促進に繋がっている点が評価された。



ウェディングドレスや袴



障害に応じ一つ一つデザイン



店内に飾られた思い出の写真



容易に着脱できるよう工夫



店舗への障害者訓練生配置

奨励賞

株式会社アイセック・ジャパン

商業・公共施設のカウンターに端末を設置しサービス提供者の音声をリアルタイムで文字表示するモバイル型情報保障サービス「ワンタッチでe・ミミ」を国内で先駆けて開発、聴覚障害者等が安心して窓口を訪問できる仕組みを確立した点が評価された。県内の市町村・銀行窓口だけでなく県外でも顧客を獲得する等、情報産業振興の観点からも期待されている。



音声をリアルタイムで文字表示



高速かつ正確に表示する体制



役所や銀行窓口への端末設置



奨励賞

牧志・安里地区市街地再開発組合(さいおんスクエア)

市街地再開発事業として国際通り牧志駅前に建設された複合施設。商業施設には各階に多目的トイレを設置、宿泊施設にはバリアフリールームを設置、高齢者や障害者、子ども連れなどに配慮した施設整備を行っている。

構想段階から障害当事者の意見を反映するなどユニバーサルデザインを強く意識した設計となっており、施設そのものだけでなく牧志駅から直結する経路の整備や隣接する河川・駅前広場へ官民境界をまたいでも段差を無くす仕上げをする等、周辺施設との調整を行っている。



駅前広場・歩道へのスムーズな移動



親水広場へのスロープ

奨励賞

沖縄県護国神社

奥武山公園区域内にある神社。高台に位置する本殿への参拝を容易にするため、社務所棟新築を契機に境内におけるバリアフリー化を図った。本殿などは宗教施設なので条例基準適合対象施設ではないが、県内だけでなく全国から高齢者・障害者の参拝客が多いことから、できるだけ条例に適合させるような整備を自主的に行っている。



高台に位置する本殿



本殿まで続くスロープ



祭祀施設部分も改修

奨励賞

沖縄県福祉介護タクシー事業協同組合

平成17年に福祉輸送サービス個人事業者で組織した事業協同組合。現在は41事業所で構成。消防による急患搬送、病院・福祉施設による無償搬送、一般タクシーによる有償運送、そのいずれにも当てはまらない様々な福祉輸送の需要に対応するため、全国に先駆けて個々の事業所を県単位で組織化しフリーダイヤルを設置することで窓口を一本化した。

組合員全員のヘルパー資格取得、接遇等資質向上研修の開催、利用料金体系を統一するなど、個々の事業所だけでなく業界全体に対する利用者からの信頼を得るための活動を行っている。



消防・救急との連携



福祉輸送サービスの様子

1 募集対象

県内において、福祉のまちづくりに寄与する次に掲げる取組みや活動を行っている個人、企業又は団体について募集します。

- (1) 施設のバリアフリー化の整備及びサービス等の運営
施設(社会福祉施設、医療施設、教育文化施設、集会場等、物販店ほか店舗、ホテル等、スポーツ施設、劇場等、展示場等の建築物をいう。)のバリアフリー化の整備及びサービス等の運営。ただし、国又は地方公共団体の事業として整備された施設を除きます。
- (2) バリアフリー化に資する創造的な用具・機器の開発・研究・規格の標準化等
応募できるものは、他者の知的所有権その他の権利を侵害しないものに限り、かつ、国又は地方公共団体の事業として実施したものを除きます。
- (3) 福祉のまちづくりの推進・普及のための活動、事業等
高齢者、障害者等の自立と社会参加に寄与する活動、事業等(ガイドマップの作成、旅行・買物等の外出を介助するボランティア、移送サービスの提供、バリアフリー化の点検、各種情報提供、児童生徒のバリアフリー意識向上活動など)。ただし、その活動、事業等を行っている者又は団体は現在も活動を継続しているものに限り、かつ、その活動が行政機関の特別職非常勤職員の職務としての活動を除きます。
- (4) その他福祉のまちづくりに寄与する取組みや活動

2 表彰の種類

沖縄県福祉のまちづくり賞の種類は、次のとおりです。

- (1) 沖縄県知事賞 活動等が長期にわたり継続されている等、県内外における模範となり、顕著な功績があったと認められるもの
- (2) 奨励賞 活動等への取組みが地域における模範となり、啓発効果が期待できるもの

3 選考、発表及び表彰

- (1) 応募又は推薦があった取組みや活動の中から、福祉のまちづくりに関し先駆的又は県内に広く普及させるにふさわしいと認められるものについて、沖縄県福祉のまちづくり賞候補者選考審査会が選考します。
- (2) その選考の結果は、平成 28 年 3 月に発表し、受賞者に対して賞状及び記念品を授与します。なお、施設の整備等については、施設の設置者及び管理者を表彰します。

平成 27 年度選考経過

募集 (平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 12 日)

選考審査 書類審査 (平成 28 年 1 月)
現地調査 (平成 28 年 1 月)
決 定 (平成 28 年 2 月)

平成 28 年度も募集予定

平成 28 年度も表彰を行う予定です。

夏頃募集(詳細未定)いたしますので、表彰にふさわしい案件がありましたら、ぜひ御応募お願いいたします。

詳細は、沖縄県福祉のまちづくり賞 web サイトにて御確認ください。

表彰式

平成 28 年 3 月 15 日、沖縄県庁 3 階子ども生活福祉部長室で表彰式が行われました。



沖縄県福祉のまちづくり賞 表彰対象一覧

	表彰の種類	受賞者	内容
平成20年度	県知事賞	特定非営利活動法人バリアフリーネットワーク会議	活動
		平田観光株式会社	活動
	奨励賞	株式会社ラグーンリゾート名護「オキナワマリオットリゾート&スパ」	施設整備
		沖縄県友声会	活動
平成21年度	県知事賞	社会福祉法人まつみ福祉会「介護老人保健施設桜山荘」	活動
	奨励賞	沖縄脊髄損傷者連合会	活動
		株式会社サンエー「しおざきシティ・なかぐすく店・那覇メインプレイス」	施設整備
		沖縄都市モノレール株式会社	施設整備
平成22年度	県知事賞	学校法人沖縄大学	施設整備
	奨励賞	株式会社ラジオ沖縄	活動
		全国心臓病の子どもを守る会沖縄県支部	活動
		琉球ジャスコ株式会社	活動
全国手話通訳問題研究会沖縄支部		活動	
平成23年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	沖縄伴走ランナーネットワーク	活動
		コザ信用金庫「赤道支店・嘉手納支店」	施設整備
平成24年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	沖縄県福祉介護タクシー事業協同組合	活動
		牧志・安里地区市街地再開発組合「さいおんスクエア」	施設整備
		沖縄県護国神社	施設整備
平成25年度	県知事賞	イオンタウン株式会社	施設整備
	奨励賞	NPO 法人幸せの魔法つ会 あいとぴあ	製品開発
		株式会社アイセック・ジャパン	製品開発
平成26年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	(該当なし)	—
平成27年度	県知事賞	株式会社 琉球銀行	活動
	奨励賞	ティーンズクラブ	活動
		株式会社 沖縄銀行	施設整備

※平成19～23年度は「沖縄県福祉のまちづくり推進功労者表彰」という名称で表彰していました。



沖縄県子ども生活福祉部障害福祉課

沖縄県福祉のまちづくり賞

検索

